

単元名: 中国語で研修日誌を作ろう																																	
科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー																												
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応)	-																												
話題分野	日常生活	言語レベル	2	必要時間数	4~6時間																												
I 単元目標			3×3+3																														
中国へ語学研修に行き、現地で授業や交流会、自由行動、ホームステイなどで経験したことを、自分が感想を添えて日誌にまとめることができ、交流した中国の高校生やホストファミリーのフィードバックをもらって、学びを深めることができる。																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>言語</th> <th>文化</th> <th>グローバル社会</th> <th>学習者</th> <th>教室外</th> <th>他教科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わかる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>できる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>つながる</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科	わかる							できる							つながる						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科																											
わかる																																	
できる																																	
つながる																																	
言語領域		文化領域		グローバル社会領域																													
<ul style="list-style-type: none"> ◆大連の高校生との交流会でグループごとにお互いの日常生活について話をしたり、自由時間に遊ぶ計画を立てたりすることができる。 ◆クラスメートの研修日誌を読むことができる。 ◆研修日誌を書くことができる。 ◆ホストファミリーに一週間の出来事を報告したり、次週の自分の予定を説明したりすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆日中の高校生の課外時間や余暇の過ごし方について比較することができる。 ◆日中の高校生が好きなこと、趣味について、同世代としての共通性、共有性にも着目して考えることができる。 ◆ホストファミリーの生活習慣をよく観察することができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆初対面の相手に積極的に話しかけ、お互いの希望を尊重しながらグループで自由時間の計画を立てることができる。(協働) ◆高校生の日常において、学校の勉強以外に行なっている社会活動の大切さを考える。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>																													
コミュニケーション能力指標		<p>【日常生活】</p> <p>2-a. 日常の生活行動(1日単位または1週間単位)について、その頻度や時間の長さなどを含めて、口頭で紹介しあうことができる。</p> <p>2-b. 1日、1週間単位の予定や報告(何曜日に何をするか/したかなど)を、簡単に、口頭でまたは書いて伝えあうことができる。</p> <p>2-c. 日常生活の様子(忙しい、楽しいなど)について、会話できる。</p> <p>2-d. その日にしたことを、簡条書きで記録できる。</p> <p>2-e. カレンダーに書かれた予定を、だいたい理解できる。</p> <p>【人とのつきあい】</p> <p>2-b. 相手の都合を聞いて、日程や場所などを決めることができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>																															
II 評価																																	
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)																														
<ul style="list-style-type: none"> ◆その日にしたことやその時の気持ちを簡条書きで書く。(簡体字表記および文法・語彙の正確さ、表現の適切さ、全体の構成等) ◆カレンダーに書かれた予定を読む。(情報読み取りの正確さ等) ◆一日、一週間単位の予定やその日にしたことを簡単に口頭で伝えあう。(要点のわかりやすさ、表現の適切さ、発音の正しさ等) 			<ul style="list-style-type: none"> ◆中国研修日誌を書く。(情報量、内容構成、感じたことや考えたことの伝え方、分かりやすさ、簡体字表記・文法の正確さ) ◆研修日誌を集め、写真等を入れて研修記録としてまとめる。(情報量、内容構成、分かりやすさ) 																														

III 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆研修で訪れる都市の地図や名所旧跡等を前もって調べておき、自由時間の計画(タイムスケジュール表)を書いて発表する。【2-b】</p> <p>◆週間スケジュール帳に自分の予定を中国語で書き込む。次にペアを作り、「2人が空いている日時を探して遊びに行く約束をする(遊園地に行く/映画を見に行く/ファッションビルに買い物に行くなど条件付き設定)」ロールプレイをする。スケジュールを書いてメールで相手に送った上でそれを見ながら会話してもよい(ロールプレイが難しければ、前もってセリフを考えておきシナリオプレイにする)。【2-a,b,e】</p> <p>◆その日にしたことやその時の気持ちを中国語で簡単に箇条書きで記録する(フォーマットを用意)。【2-c,d】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> F高校の生徒は夏休みに二週間大連の高校へ語学研修に行くことになった。研修中、毎日その日にしたことやその時の気持ちを中国語で記録した研修日誌(フォーマットを用意)を作成することにした。</p> <p><活動の流れ> 日誌を書く際に必要となるであろう常用表現を考え、研修前に学んでおく。 研修の本番を迎え、大連の高校生と交流会を開き、グループを作ってお互いの日常生活について話をしたり、自由時間に遊ぶ計画を立てたり約束をしたりする。週末はホームステイをして、ホストファミリーに一週間の出来事を報告したり、次の週の自分の予定を説明したりする。 そうした日々の勉強や自由時間の過ごし方、大連の高校生との交流、ホームステイ中の経験などを日誌にまとめる。事実をそのまま記録するのではなく、その事実を通して、感じたことやなかったこと、疑問に思ったこと、比較や考察の結果など一言添える。 研修後、参加者の研修日誌を集め、写真等も入れて研修記録としてまとめる。まとめた研修記録を交流した高校生やホストファミリーに贈り、コメントや疑問に対する回答をもらい、クラスでそのコメントや回答を読み込んで、話しあう。</p> <p>ヒント☞ 研修等に参加しない場合は、中国語で日記(フォーマットを用意)を書いて文通相手に送る。あるいはSNSを利用した中高生のための交流用ウェブサイト等で紹介しあう。クラス内で交換してもよい。</p>	
<p><使用教材・教具> ワークシート(日誌のフォーマット)、デジタルカメラ、PC</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 今天六点起床, 七点吃早饭, 八点上课。/ 阅读课上, 我们读了冰心的散文。/ 会话课上, 我们学了买东西时常用的短句。/ 中午在留学生食堂吃饺子。/ 下课后, 我跟同学在学校的操场打篮球。/ 晚上跟宿舍的服务员聊天儿。/ 周末在中国同学家住一夜。/ 她爸爸做菜做得很好, 他做的菜都很好吃。/ 下个星期六我们去香山郊游。</p> <p><表現のポイント> 数字、日時・曜日・時刻の表し方、時間の長さの表し方、連動文、前置詞“在”“跟”、様態補語、完了・実現を表すアスペクト助詞“了”</p>	<p>数字、日時・曜日・時刻の表し方、時間の長さの表し方、一日の行動を表す語彙(“起床、洗脸、刷牙、吃饭、去学校、上课、参加课外活动、回家、去补习学校、做作业、看电视、上网、洗澡、睡觉”等)、学校・クラブ活動の紹介(“课外活动、篮球、排球、足球、舞蹈、茶道、书法”等)、週末の過ごし方(“在家休息、逛街、买东西、参加网球俱乐部的比赛、看电影、买东西、去唱卡拉OK、参加志愿者活动”等)、感情表現など(“有意思、没意思、玩儿得很开心、累、忙、紧张”等)</p>	<p><事象> ◆自由時間の過ごし方(家、習い事、アルバイト、ボランティア) ◆高校生の好きなこと、趣味、遊び(何をどこで) ◆家庭での生活習慣、マナー ◆高校生と社会活動</p> <p><事象のポイント> ◆日本と中国の高校生がふだんどんな場所でどのような遊びをしているか、家ではどう過ごしているか、クラブ活動・習い事、アルバイト、ボランティア等について考えたり、調べて、比較する。 ◆ホームステイ先で迷惑をかけず気持ちよく過ごすにはどのような準備や心がけをしたらよいか事前に考えておく。 ◆ホストファミリーの生活習慣をよく観察する。 ◆日中の高校生が好きなこと、趣味について、同世代としての共通性、共有性にも着目して考える。 ◆学校の勉強や自分の趣味、遊び以外に行なう社会活動(アルバイトやボランティア、交流、地域活動など)の意味について考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
<p>研修先の高校の生徒、研修の講師、ホストファミリー</p>		